

子会社社長を公募

新卒5年目社員が就任

日本ロングライフ



花こち社長
北林拓馬

5月3日号で伝えた通り、高齢者住宅運営を手掛ける日本ロングライフ（大阪市）の100％子会社で、高齢者住宅入居相談事業を展開する花こち（同）の新社長に北林拓馬氏が就任した。社内公募に応じた26歳の若手社長に、立候補の動機や今後のビジョンについてインタビューした。

父が福祉経営者
背中を見て育つ

——経歴を教えてください

北林 父が福祉事業を

経営していたこともあり、就職活動の際には福祉・介護業界も視野に入れていました。何社か応募をしました。入社後4年間、

入居相談事業 展開

運営する高齢者住宅の入居者営業に携わりました。

——今回の社長公募について、詳しく教えてください

北林 以前より、日本ロングライフを含む口

経営していたこともあり、就職活動の際には福祉・介護業界も視野に入れていました。何社か応募をしました。入社後4年間、

社長の公募は今回が初のケースです。社内イントラネットで告知されたのですが、年齢、職歴、経験、雇用形態を問わず、誰もが手を挙げられるものでした。

——公募にはすぐに応じたのですか

北林 経営者である父の背中を見て育ってきたこともあり、「いつかは企業の経営に携わりたい」という気持ち

た。それが日本ロングライフに総合職として入社した理由でもあります。

——一方で、以前「花こち」の業務には少し携わった経験があり、その大変さを実感していました。また、父に相談したのですが「経営者という立場は厳しいものだから」と言われ、正直なところ迷いました。しかし、最終的には「この年齢で経営を任せてもらえるチャンスはそうそうないだろう」と思い立候補しました。

は以前よりありまし

若さを前面に 他社と差別化

——新社長として、今後どのようなことをしていきたいですか

北林 まず「花こち」は、会社としては2019年に設立しましたが、しばらく休眠状態にありました。まずはこれを一刻も早く再び軌道に乗せたいです。

長い歴史があり上場している会社が母体であることや、学生時代に野球（ピッチャー）をしてきた自身の若さ・アクティブさを差別化ポイントとして、早々に業界内での立ち位置を確保していきま

行っていききたいと思

ます。

——中長期的にはどのようなビジョンを持っていますか

北林 高齢者住宅入居相談事業は、飽和状態に近いのではないかと

思います。将来的には高齢者・福祉に関する分野で、何かもう一本新しい柱を作りたいと考えています。